

## 卷 頭 言

- 建設は技術から！ 建設の根幹をなすものは技術である。
- 東亞に西歐に、風雲今や急にして、日滿兩帝國の前途は實に多事多端である。

此の秋に當り時艱を克服し、我等の理想を顯現し、東亞永遠の平和を確保するの途は正に生産力擴充、建設の一途あるのみである。

- 北邊振興、産業開發、移民開拓、滿洲國は其の國策線に沿つて着々と建設の歩を進みつつある。

建設！ 建設！ 之が現在に於ける滿洲國のスローガンであり而して其の根幹をなすものは技術である。

世は正に技術總動員の秋となつた

- 既往の計畫事業は目的達成の一手段として技術を使用せんとするに過ぎなかつた。斯の如き狀況にて偉大なる結果を期待するは不可能事に屬する。

素人的計畫を止めよ！ 計畫は須らく技術に基いて樹立し技術的見通しの下に立法し實施すべきである斯てこそ計畫と實際との齟齬を是正し始めて完全なる結果を期待し得るであらう。

- 技術者よ立て！ 大いに其の翼を延ばせ！

而して技術立國の實を擧げよ！

斯くすることが我等の最大の義務であらねばならぬ。